

大学院修士課程 美術教育

平成 29 年度 筆答試験

[英語]

次の英文を日本語に訳しなさい。(辞書使用可。ただし電子辞書は不可。)

1. (この部分につきましては著作権法上の問題から掲載することができません)
(John Dewey, *Art as Experience*, The Berkley Publishing, 2005, p. 242, ll. 15-21)

2. (この部分につきましては著作権法上の問題から掲載することができません)
(Stuart Macdonald, *A Century of Art and Design Education*, The Lutterworth Press, 2005, p.190, ll.35-40)

3. (この部分につきましては著作権法上の問題から掲載することができません)
(J. W. Getzels and Mihaly Csikszentmihalyi, *The Creative Vision*, John Wiley & Sons, 1976, p.83, ll. 14-19)

大学院修士課程 美術教育

平成 29 年度 筆答試験

〔実技に関する小論文〕

自己の美術制作を通して学んできたことで、美術教育に役立つと考えられる点を挙げ、自らの考えを述べなさい。

(指定 400 字詰原稿用紙 4 枚以内)

大学院修士課程 美術教育

平成 29 年度 筆答試験

〔理論に関する小論文〕

小学校の図画工作、中学校の美術、高等学校の芸術（美術・工芸）における美術教育と、大学における美術作家を養成する教育との共通点と差異について、自己の体験に基づいて述べなさい。

(指定 400 字詰原稿用紙 4 枚以内)

大学院修士課程 美術教育
平成 29 年度 実技試験

出 題

各自で課題を設定し、
各自の描画材料でデッサンしなさい。

※画面は縦、横どちらでも構いません。